

平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月29日

上場会社名 株式会社FPG 上場取引所 東  
 コード番号 7148 URL http://www.fpg.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷村 尚永  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長 (氏名) 久保出 健二 TEL 03-5288-5691  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績（平成27年10月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	14,696	21.0	9,475	10.5	9,592	10.8	6,178	11.8
27年9月期第3四半期	12,146	153.2	8,578	213.5	8,660	246.7	5,525	263.5

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 5,988百万円 (8.1%) 27年9月期第3四半期 5,539百万円 (261.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	67.68	67.34
27年9月期第3四半期	58.85	58.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	93,344	16,340	17.4
27年9月期	69,087	16,176	23.3

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 16,250百万円 27年9月期 16,091百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	24.50	24.50
28年9月期	—	0.00	—		
28年9月期(予想)				35.50	35.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年9月期の連結業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,388	26.6	12,542	24.4	12,666	26.0	8,041	26.8	88.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期3Q	94,461,600株	27年9月期	94,299,600株
② 期末自己株式数	28年9月期3Q	4,506,692株	27年9月期	6,673株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期3Q	91,289,813株	27年9月期3Q	93,892,919株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料9ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

平成28年9月期 第3四半期 決算概要 .....	2
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	3
(1) 経営成績に関する説明 .....	3
(2) 財政状態に関する説明 .....	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	9
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	10
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	10
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	10
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	10
(4) 追加情報 .....	10
3. 四半期連結財務諸表 .....	11
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	11
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	13
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	13
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	14
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	15
(セグメント情報) .....	15

平成28年9月期 第3四半期 決算概要

損益の状況

- タックス・リース・アレンジメント事業について、案件組成のサポートを行う関係会社との連携推進等により、リース事業組成金額が3,191億円となったこと、また投資家からの出資金に対する需要が強く推移する中、販売ネットワークの拡大を含む販売力の向上により、出資金販売額が815億円となったこと等から、同事業の売上高が前年同期に比べ、増加いたしました。また航空機投資管理サービス事業等のその他事業の売上高も増加いたしました。
- 売上高の増加が、先行投資を含めた、業容拡大に伴う費用の増加を吸収した結果、各損益も増加いたしました。

(単位：百万円)

	平成27年9月期 第3四半期	平成28年9月期 第3四半期	増減額	(予想) 平成28年9月期 連結会計年度
売上高	12,146	14,696	2,550	19,388
タックス・リース・ アレンジメント事業	11,481	13,270	1,788	17,531
その他	665	1,426	761	1,857
営業利益	8,578	9,475	896	12,542
経常利益	8,660	9,592	932	12,666
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	5,525	6,178	652	8,041
一株当たり 四半期(当期)純利益	58円85銭	67円68銭	—	88円41銭
リース事業組成金額	205,094	319,169	114,074	360,000
出資金販売額	69,792	81,553	11,761	111,580

財政状態の状況

(単位：百万円)

	平成27年 9月末	平成28年 6月末	増減額
資産合計	69,087	93,344	24,257
流動資産	66,032	90,527	24,495
(現金及び預金)	7,384	8,764	1,380
(商品出資金)	46,522	62,559	16,036
(組成用不動産)	1,574	3,849	2,275
(その他)	10,550	15,353	4,803
固定資産	2,993	2,786	△206
繰延資産	61	31	△30
負債合計	52,910	77,003	24,092
流動負債	50,030	72,958	22,927
(借入金・社債)	29,425	50,648	21,223
(前受金)	7,383	11,985	4,602
(その他)	13,222	10,324	△2,898
固定負債	2,880	4,045	1,165
純資産合計	16,176	16,340	164

資産合計

出資金の販売を進めた一方で、案件組成を積極的に行ったことから、商品出資金が625億円となりました。

前年度末に計上していた不動産に係る不動産小口運用商品を完売した一方で、新規商品用の不動産を取得したことから、組成用不動産が38億円となりました。

短期貸付金が増加したこと等から、流動資産に含まれるその他の資産の合計が、153億円となりました。

負債合計

商品出資金及び組成不動産の取得原資としての資金調達が増加したこと等から、流動負債の借入金・社債が、506億円となりました。

未払法人税等及び証券事業において提供する通貨関連店頭デリバティブ商品に係る受入保証金が減少したこと等から、流動負債に含まれるその他の負債の合計が、103億円となりました。

純資産合計

前期末配当の実施及び自己株式を取得した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと等により、純資産が163億円となりました。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	平成26年9月期 第3四半期	平成27年9月期 第3四半期	平成28年9月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	4,797	12,146	14,696	2,550	21.0%
売上原価	668	1,579	1,914	335	21.3%
販売費及び一般管理費	1,392	1,988	3,306	1,317	66.3%
営業利益	2,736	8,578	9,475	896	10.5%
営業外収益	222	615	776	160	26.1%
営業外費用	460	533	659	125	23.6%
経常利益	2,498	8,660	9,592	932	10.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,519	5,525	6,178	652	11.8%

リース事業組成金額	88,026	205,094	319,169	114,074	55.6%
出資金販売額	29,994	69,792	81,553	11,761	16.9%

(注) 本書における用語の説明

リース事業組成金額	組成したオペレーティング・リース事業案件のリース物件の取得価額の合計額
出資金販売額	出資金（オペレーティング・リース事業の匿名組合出資持分及び任意組合出資持分）について、リース開始日までに投資家へ私募により販売した額及びリース開始日時時点で当社が一旦立替取得し、（連結）貸借対照表の「商品出資金」に計上したのものについて、投資家へ譲渡により販売した額の合計額

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、総じて緩やかに回復しているものの、欧州政情不安や中国その他新興国経済の減速懸念等もあり、先行きに不透明さが増しております。日本経済についても、緩やかな回復基調にあるものの、海外経済の減速等の懸念もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画に従い、各種施策の実施に努めた結果、タックス・リース・アレンジメント事業が好調に推移する等、前年同期に比べ増収増益となりました。

売上高

(単位：百万円)

	平成27年9月期 第3四半期	平成28年9月期 第3四半期	増減額
売上高	12,146	14,696	2,550
タックス・リース・ アレンジメント事業	11,481	13,270	1,788
その他	665	1,426	761

売上高は14,696百万円（前年同期比21.0%増）となりました。

(タックス・リース・アレンジメント事業)

タックス・リース・アレンジメント事業の売上高は13,270百万円（前年同期比15.6%増）となりました。リース事業組成金額及び出資金販売額の状況は以下のとおりであります。

- ・リース事業組成金額は319,169百万円（前年同期比55.6%増）となりました。これは主に、組成担当部署の人員を増強するとともに、案件組成のサポートを行う関係会社（FPG AIM グループ（FPG ASSET & INVESTMENT MANAGEMENT B.V. 及びその子会社）及びFPG AMENTUM LIMITED）との連携を推進し、好調な出資金販売環境、資金調達力の向上を背景に、積極的な案件組成を行ったことによるものであります。
- ・出資金販売額は81,553百万円（前年同期比16.9%増）となりました。これは主に、業績好調な投資家からの出資金に対する需要が強く推移する中、販売ネットワークの拡大を含む販売力の向上により、出資金の販売額が増加したことによるものであります。

（その他事業）

タックス・リース・アレンジメント事業以外のその他事業の売上高は1,426百万円（前年同期比114.5%増）となりました。このうち、前連結会計年度の第3四半期連結会計期間末から連結子会社としたFPG AMENTUM LIMITEDが行う航空機投資管理サービス事業の売上高は419百万円、証券事業の売上高は310百万円（前年同期比61.5%増）、保険仲立人事業の売上高は382百万円（前年同期比64.4%増）、不動産関連事業の売上高は152百万円（前年同期比48.8%増）、M&Aアドバイザー事業の売上高は117百万円（前年同期比185.5%増）となりました。

売上原価

売上原価は1,914百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

これは主に、売上高拡大に伴い顧客紹介に係る手数料が増加したことによるものであります。

販売費及び一般管理費

（単位：百万円）

	平成27年9月期 第3四半期	平成28年9月期 第3四半期	増減額
販売費及び一般管理費	1,988	3,306	1,317
人件費	966	1,727	761
その他	1,022	1,578	556

販売費及び一般管理費は3,306百万円（前年同期比66.3%増）となりました。

これは主に、さらなる業容拡大を図るため、タックス・リース・アレンジメント事業のオペレーティング・リース事業案件の組成体制及び販売体制の強化、信託機能を活用した不動産小口運用商品の販売体制の強化を含む積極的な人員増強を行ったこと、FPG AMENTUM LIMITEDを新たに連結子会社としたこと、その他業容拡大等により、人件費が1,727百万円（前年同期比78.8%増）、その他の費用が1,578百万円（前年同期比54.4%増）となったことによるものであります。

（注）人件費には、給料手当、賞与（引当金繰入額含む）、法定福利費、福利厚生費、退職給付費用、人材採用費等を含めております。

## 営業利益

上記の結果、営業利益は9,475百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

## 営業外収益／営業外費用

(単位：百万円)

	平成27年9月期 第3四半期	平成28年9月期 第3四半期	増減額
営業外収益	615	776	160
受取利息	286	509	222
持分法投資利益	210	189	△20
その他	118	77	△40
営業外費用	533	659	125
支払利息	213	240	26
支払手数料	295	264	△30
その他	24	154	129

営業外収益は、776百万円（前年同期比26.1%増）となりました。これは主に、出資金販売額の増加に伴い、投資家から収受している商品出資金の立替利息が増加した結果、受取利息が、509百万円（前年同期比77.7%増）となったこと、また関連会社に関する持分法による投資利益が、189百万円（前年同期比10.0%減）、組成用不動産の不動産賃貸料が、70百万円（前年同期比33.1%減）となったことによるものであります。

営業外費用は、659百万円（前年同期比23.6%増）となりました。これは主に、支払利息が、240百万円（前年同期比12.3%増）、支払手数料が、264百万円（前年同期比10.3%減）、為替差損が、108百万円（前年同期は8百万円の為替差益）となったことによるものであります。

## 経常利益／特別損益／親会社株主に帰属する四半期純利益

経常利益は、9,592百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

特別損益として、第2四半期に株式会社F P G投資顧問の株式取得時に発生したのれんに係る減損損失144百万円を計上いたしました。これは、今後の当社グループにおける資産運用サービスの拡充について、株式会社F P G投資顧問よりも、運用型信託会社の免許を有する株式会社F P G信託の活用重点を置くことにしたため、株式会社F P G投資顧問の事業計画を見直した結果、のれんの未償却残高について減損損失を計上したものです。

上記の結果、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は、6,178百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

セグメント別業績

セグメント別業績の概況は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメント	平成27年9月期 第3四半期		平成28年9月期 第3四半期	
	売上高	セグメント利益または セグメント損失(△)	売上高	セグメント利益または セグメント損失(△)
F P G	11,883	8,915	13,775	9,780
F P G証券	193	△8	319	69
その他	75	△245	720	△173
調整額	△6	—	△118	△84
合計	12,146	8,660	14,696	9,592

- (注) 1. 各セグメントの売上高及びセグメント利益またはセグメント損失は、セグメント間取引の消去前の金額を記載しております。  
 2. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。  
 3. 調整額はセグメント間取引消去額であります。

(F P Gセグメント)

当社におけるタックス・リース・アレンジメント事業が好調に推移したことにより、売上高は、13,775百万円（前年同期比15.9%増）、セグメント利益は、9,780百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

(F P G証券セグメント)

株式会社F P G証券における通貨関連店頭デリバティブ商品の売上高が拡大したことにより、売上高は、319百万円（前年同期比65.3%増）、セグメント利益は、69百万円（前年同期は8百万円のセグメント損失）となりました。

(その他)

前連結会計年度の第3四半期連結会計期間末からFPG AMENTUM LIMITEDを連結子会社としたこと等から、売上高は、720百万円（前年同期比853.7%増）となりました。セグメント損益については、株式会社F P G信託において、売上高の拡大を可能とするための体制整備に努めた結果、費用の発生が先行していることもあり、セグメント損失は、173百万円（前年同期比29.3%減）となりました。

- (注) 本項目において、各セグメントの売上高の説明は、従来、セグメント間取引消去後の金額に基づき記載しておりましたが、当第3四半期連結累計期間よりセグメント間取引消去前の金額を用いて記載することに变更しております。



(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	平成27年 9月末	平成28年 6月末	増減額
資産合計	69,087	93,344	24,257
流動資産	66,032	90,527	24,495
（現金及び預金）	7,384	8,764	1,380
（商品出資金）	46,522	62,559	16,036
（組成用不動産）	1,574	3,849	2,275
（その他）	10,550	15,353	4,803
固定資産	2,993	2,786	△206
繰延資産	61	31	△30
負債合計	52,910	77,003	24,092
流動負債	50,030	72,958	22,927
（借入金・社債）	29,425	50,648	21,223
（前受金）	7,383	11,985	4,602
（その他）	13,222	10,324	△2,898
固定負債	2,880	4,045	1,165
純資産合計	16,176	16,340	164

(注) 流動負債の（借入金・社債）には、コマーシャル・ペーパーを含めております。

資産の状況

資産合計は、93,344百万円（前年度末比24,257百万円の増加）となりました。その概要は以下のとおりであります。

(流動資産)

流動資産は、90,527百万円（前年度末比24,495百万円の増加）となりました。

- ・現金及び預金は、8,764百万円（前年度末比1,380百万円の増加）となりました。
- ・商品出資金は、62,559百万円（前年度末比16,036百万円の増加）となりました。これは主に  
出資金の販売を進めた一方で、オペレーティング・リース事業の案件組成を積極的に行  
ったことによるものであります。
- ・組成用不動産は、3,849百万円（前年度末比2,275百万円の増加）となりました。これは前  
年度末に計上していた不動産に係る不動産小口運用商品を完売した一方で、新規商品用の  
不動産を取得したことによるものであります。
- ・上記以外の流動資産は、15,353百万円（前年度末比4,803百万円の増加）となりました。こ  
れは主に、任意組合「F P G航空機賃貸事業組合第1号」に対して一時的な貸付けを行っ  
たことにより、短期貸付金が4,469百万円となったこと、証券事業において提供する通貨関  
連店頭デリバティブ商品に関連して、カバー取引先である金融機関に対する差入保証金  
が、3,445百万円（前年度末比1,527百万円の減少）、その他の流動資産に含まれるデリバ  
ティブ債権が、2,911百万円（前年度末比697百万円の増加）となったことによるもので  
あります。

(注) 通貨関連店頭デリバティブ商品の提供に際しては、当社グループが、デリバティブ取引の市場リスクを負担することを回避  
するために、顧客とのデリバティブ取引契約を締結する際に、カバー取引として、金融機関とデリバティブ取引契約を締結

しております。その結果、資産側にデリバティブ債権とカバー取引先への差入保証金を計上するとともに、負債側に、デリバティブ債務と顧客からの受入保証金を計上しております。

#### (固定資産)

固定資産は、2,786百万円（前年度末比206百万円の減少）となりました。

- ・有形固定資産は、400百万円（前年度末比58百万円の増加）となりました。
- ・無形固定資産は、1,295百万円（前年度末比331百万円の減少）となりました。
- ・投資その他の資産は、1,089百万円（前年度末比65百万円の増加）となりました。

#### 負債の状況

負債合計は、77,003百万円（前年度末比24,092百万円の増加）となりました。その概要は以下のとおりであります。

#### (流動負債)

流動負債は、72,958百万円（前年度末比22,927百万円の増加）となりました。

- ・借入金・社債（コマーシャル・ペーパーを含む。）は、50,648百万円（前年度末比21,223百万円の増加）となりました。これは主に商品出資金・組成用不動産の取得原資としての資金調達が増加したためであります。
- ・主に第4四半期以降に販売予定の商品出資金に係る手数料を含む前受金は、11,985百万円（前年度末比4,602百万円の増加）となりました。
- ・上記以外の流動負債は、10,324百万円（前年度末比2,898百万円の減少）となりました。これは主に、未払法人税等が、1,736百万円（前年度末比1,670百万円の減少）となったこと、また証券事業において提供する通貨関連店頭デリバティブ商品に関連して、顧客から收受する受入保証金が、3,693百万円（前年度末比1,759百万円の減少）、その他の流動負債に含まれるデリバティブ債務が、2,914百万円（前年度末比697百万円の増加）となったことによるものであります。
- ・機動的な資金調達が可能となるコミットメントライン契約及び当座貸越契約等の総額は、当第3四半期連結会計期間末で、89,450百万円（前年度末比15,000百万円の増加）となりました。

#### (固定負債)

固定負債は、4,045百万円（前年度末比1,165百万円の増加）となりました。これは主に、借入金・社債が、3,821百万円（前年度末比1,156百万円の増加）となったことによるものであります。

#### 純資産の状況

純資産合計は、16,340百万円（前年度末比164百万円の増加）となりました。これは主に、前年度の期末配当2,310百万円を実施したことや、自己株式3,523百万円を取得した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益6,178百万円を計上したことによるものであります。

自己資本比率は、当第3四半期連結会計期間末時点で17.4%（前連結会計年度末は23.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月28日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

(単位：百万円)

	平成28年9月期 (実績)	平成28年9月期 (平成28年4月28日公表予想)	
	第3四半期 連結累計期間 平成27年10月1日～ 平成28年6月30日	連結会計年度	
		平成27年10月1日～ 平成28年9月30日	前期比
売上高	14,696	19,388	26.6%
タックス・リース・ アレンジメント事業	13,270	17,531	24.1%
その他	1,426	1,857	56.7%
営業利益	9,475	12,542	24.4%
経常利益	9,592	12,666	26.0%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	6,178	8,041	26.8%
リース事業組成金額	319,169	360,000	21.1%
出資金販売額	81,553	111,580	32.6%

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

任意組合「F P G航空機賃貸事業組合第1号」を子会社としておりますが、同組合は、支配が一時的であるため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更が、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

( 1 ) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年 9 月 30 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成28年 6 月 30 日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,384,443	8,764,639
売掛金	125,222	268,312
貯蔵品	8,316	10,009
商品出資金	46,522,828	62,559,462
組成用不動産	1,574,318	3,849,441
繰延税金資産	1,442,511	1,975,337
差入保証金	4,972,365	3,445,360
その他	4,002,184	9,654,668
流動資産合計	66,032,190	90,527,233
固定資産		
有形固定資産	341,797	400,705
無形固定資産		
のれん	1,577,356	1,225,279
その他	50,056	70,691
無形固定資産合計	1,627,413	1,295,970
投資その他の資産		
繰延税金資産	38,747	39,520
その他	985,186	1,049,982
投資その他の資産合計	1,023,933	1,089,502
固定資産合計	2,993,144	2,786,179
繰延資産		
開業費	61,724	31,028
繰延資産合計	61,724	31,028
資産合計	69,087,058	93,344,441
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	147,936	372,689
短期借入金	24,106,400	43,970,850
コマーシャル・ペーパー	2,800,000	4,500,000
1年内返済予定の長期借入金	2,208,600	1,877,592
1年内償還予定の社債	310,000	300,000
未払法人税等	3,407,197	1,736,229
前受金	7,383,052	11,985,501
賞与引当金	196,279	103,944
受入保証金	5,453,301	3,693,366
その他	4,017,812	4,417,933
流動負債合計	50,030,579	72,958,105
固定負債		
社債	1,150,000	950,000
長期借入金	1,514,800	2,871,614
資産除去債務	83,029	91,710
その他	132,328	132,043
固定負債合計	2,880,157	4,045,368
負債合計	52,910,736	77,003,474

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,086,478	3,091,176
資本剰余金	3,036,478	3,041,176
利益剰余金	9,955,370	13,823,553
自己株式	△643	△3,524,170
株主資本合計	16,077,682	16,431,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	295
為替換算調整勘定	13,664	△181,721
その他の包括利益累計額合計	13,698	△181,426
非支配株主持分	84,941	90,658
純資産合計	16,176,322	16,340,967
負債純資産合計	69,087,058	93,344,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	12,146,626	14,696,666
売上原価	1,579,351	1,914,981
売上総利益	10,567,275	12,781,685
販売費及び一般管理費	1,988,562	3,306,227
営業利益	8,578,713	9,475,458
営業外収益		
受取利息	286,851	509,781
為替差益	8,924	—
不動産賃貸料	105,464	70,599
持分法による投資利益	210,846	189,857
その他	3,662	6,507
営業外収益合計	615,750	776,746
営業外費用		
支払利息	213,951	240,276
自己株式取得費用	—	27,128
為替差損	—	108,418
支払手数料	295,102	264,634
不動産賃貸費用	24,608	17,893
その他	21	1,025
営業外費用合計	533,684	659,376
経常利益	8,660,779	9,592,828
特別利益		
固定資産売却益	151	—
段階取得に係る差益	31,481	—
特別利益合計	31,632	—
特別損失		
減損損失	—	144,047
固定資産除却損	2,815	192
関係会社株式評価損	2,377	2,622
関係会社出資金評価損	11,469	295
会員権評価損	—	9,477
特別損失合計	16,662	156,634
税金等調整前四半期純利益	8,675,750	9,436,194
法人税、住民税及び事業税	3,274,047	3,777,800
法人税等調整額	△123,974	△540,747
法人税等合計	3,150,072	3,237,052
四半期純利益	5,525,677	6,199,141
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	20,782
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,525,677	6,178,359

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	5,525,677	6,199,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	262
持分法適用会社に対する持分相当額	6,363	△38,623
為替換算調整勘定	7,860	△171,827
その他の包括利益合計	14,207	△210,189
四半期包括利益	5,539,884	5,988,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,539,884	5,983,235
非支配株主に係る四半期包括利益	—	5,717



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年11月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づく自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、当該自己株式の公開買付けを実施した結果、平成27年12月28日に、普通株式4,500,000株、3,523,500千円を取得いたしました。

この結果、当第3四半期会計期間末における自己株式は3,524,170千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	F P G	F P G証券	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,879,160	191,967	12,071,127	75,499	12,146,626	—	12,146,626
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,560	1,600	6,160	—	6,160	△6,160	—
計	11,883,720	193,567	12,077,287	75,499	12,152,786	△6,160	12,146,626
セグメント利益又は損失(△)	8,915,038	△8,702	8,906,336	△245,556	8,660,779	—	8,660,779

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「F P G投資顧問」、「F P G信託」及び「F P G A M E N T U M」セグメントであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	F P G	F P G証券	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,752,336	310,064	14,062,401	634,264	14,696,666	—	14,696,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,935	9,806	32,741	85,765	118,506	△118,506	—
計	13,775,271	319,870	14,095,142	720,030	14,815,173	△118,506	14,696,666
セグメント利益又は損失(△)	9,780,908	69,529	9,850,437	△173,510	9,676,926	△84,098	9,592,828

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「F P G投資顧問」、「F P G信託」及び「F P G A M E N T U M」セグメントであります。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

平成27年5月に「F P G」セグメントにおける持分法適用関連会社であった、航空機投資管理サービス事業を行うFPG AMENTUM LIMITEDの株式を取得し連結子会社としたことにより、前連結会計年度より「F P G AMEN TUM」を事業セグメントとしております。FPG AMENTUM LIMITEDのみなし取得日は平成27年6月30日としているため、前第3四半期連結累計期間は持分法を適用したうえで「F P G」セグメントに含めており、当第3四半期連結累計期間は「F P G AMEN TUM」を事業セグメントとし「その他」に含めております。

(注) 第1四半期連結累計期間より、「AMENTUM」のセグメント名を、「F P G AMENTUM」に変更しております。この変更が、上記セグメント情報の金額等に与える影響はありません。